

品川支部

平成28年12月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel 3442-7075

12月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

品川支部おつとめ総会 三ツ木分教会にて開催

10月30日西品川の三ツ木分教会で品川支部のおつとめ総会が執り行われた。少し肌寒さを感じる中、本荏大教会長様ご夫妻をはじめ80名程度の方に参加頂きました。おつとめ終了後、支部活動の説明に続き、手配りひのきしん者に感謝の記念品が渡されました。（まだの方は拠点で預ってます）続いて中庭にておでん、焼きそば、カレー、フランクフルト等模擬店で懇談、教友の親睦を計りました。

三ツ木分教会会場



☆ 10時開始、品川支部報を見て来て頂いた方も数人

大祭月で来場者数が心配されましたが、しっかりおつとめは五交代で勤めさせて頂けました。



☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会 十二月九日（金）午後六時～（都南にて）
- ・教区ひのきしん 今回の当番は十二月五日（月）と九日（金）の二日で鶴平組お願いします
- ・神名流し 十二月一日（土）午後十時～ 場所 大井西口ロータリー
- ・在宅センター今年最後のひのきしん 十二月二日（金）午前九時半～
- ・支部例会十二月二十一日（二頁参照）

☆教務支庁からのお知らせ

基礎講座 十二月は十一月（日）です。来年は基礎講座の作新に伴い、一月から三月までお休みです。お気を付け下さい。講師も新たに二月から受付開始し四月から開講となりますので宜しくお願いいたします。

・布教の家東京寮 月一度のペースで「布教の家東京寮」主催で子供会を行っています。十一月二十八日（日）十時半からです。支部にお問い合わせください

・婦人会 女子青年大会は十一月四日現在、教区内、十か所中、七会場で開催、四百名を超える女子青年がすでに受講されました。本保会場が終え四日の浅草会場、十日の東中央会場まで宜しくお願いいたします

【統一教会、名前を変え活発化】

世界平和統一家庭連合と名前を変え、活動を活発化しています。出会いの場に誘うチラシ等では団体名を伏せて複数人数での見合いの場への勧誘の実態が報告されています。郵便受けに入れていくケース、キャンパスで勧誘する等、様々な方法での誘いがあるそうですので、しっかり見極めて対処して下さい。

【母親講座】卓上フラワー飾り作成

可愛くできた完成品はお持ち帰りしました



☆ 今後、アンケートで自分が教えられるもの、教わりたいものを出して次につなげていきます。

拠点教会	4日号	11日号	18日号
日本橋	手配り	手配り	手配り
本 荏	手配り	手配り	手配り
都 南	手配り	手配り	手配り
三ツ木	手配り	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	手配り

時報手配り十二月予定

教会紹介

南泰分教会元へ日



当教会は、上級・都南の部内として比較的新しく、昭和十二年十一月二十七日に設立のお許しを戴いています。

私の祖父に当たる初代会長・宮坂玉義は、信州諏訪の寒村に生まれ、幼少の頃に父親が北品川の乾海苔問屋に丁稚奉公に出され十六年勤め上げて、昭和二年、南品川に乾海苔問屋を創業しました。信州から母親を呼び寄せ、妻も娶って子供も授かり、順風満帆な生活を送っていた玉義に昭和八年、突如病が襲いかかりました、悪性の喉頭炎に罹り、飯粒はおろか水一滴も咽喉を通らなくなってしまうたのです。

「お前、だまされたと思って、天理教の教会に行ってみよう。きつと神様が助けてくださるか」と、勧めてくれたのは母親でした。実は母親の姉が、信州で天理教の教会長をしていたという。こともあり、信州の実家では一時神様も祀っていたのですが、里帰りした玉義が「信仰なんて金持ちが徳の余りするものだ。うちのようない食わすで生きていけるものがある。今すぐやめないう仕送りをとめるぞ」といつく信仰を止めたという経緯があったのです。ただ母親は、南品川の店の近くに都南があったこともあり隠れて参拝に行っていたのでしよう。

「まだそんなところに怒ったものか！」と行っているの、飲まず食わずの状態で一週間もいとさすがの玉義も、都南に足を運びたすけを願いました。

「たすかりたければ今晚出発する団参列車に乗っておちばに帰るなさい」昔の先生は凄いなもので、一週間飲まず食わずでふらふらの病人を、その晩に出る団参に乗せてしまったのです。

翌朝詰所に着いた一行は、朝食の時間になり、ぞろぞろと食堂に向かいます。食べ物がない、玉義は、部屋に残っている「宮坂さん、たどえ食べられなくて人間つきあいが肝心です」と促され食堂に行きました。目の前に炊き立てのご飯と暖かい味噌汁が置かれると、なんだか食べられるような気がして、まず味噌汁に口をつけてみると、思いがけずなんの抵抗もなく味噌汁が咽喉を通っていききました。次にご飯を口にすると吸い込まれるように咽喉を通って行きます。一週間ぶりの食べ物に玉義は夢中でおかわりを重ね、五、六杯は食べたと言われます。

「食べ物や山ほど積んで食べても食べられず、水も喉を越さんというて、苦しんでいる人もある。」

そのことを思えばわしらは結構や、水を飲めば水の味がする。親神様が結構にお与え下されてある「この教えを体得した玉義は、早速別科に入学。入信以来四年で東品川の現在地に南泰宣教所を設置しました。

入信後も、母親、妻の相次いでの出直しや、近所の失火と戦火による2度の神殿焼失など茨の道が続きましたが、元一日の感激を忘れることがなかったもので通られたのだと思います。当時の都南においては新参者だったと思われ玉義ですが、戦後の復興期には都南の会計職を拝命し、現在の都南神殿のふしんに尽力しました。

当教会も来年は創立80周年の節目を迎えます。初代会長を始め先人にご安心いただけるようなつとめを果たしていきたいと思ひます

副支部長 宮坂 義則

・原稿の文字数により一部文字の大きさを調整しています

品川支部例会

平成28年12月21日 (水)
11時開始

場所 日本橋大教会

(品川区東五反田5-25-1)

内容 おつとめ よろづよ八首 12下り 目
東京教区、支部連絡事項
当該日本橋大教会長様 挨拶
昼食は忘年会を兼ね用意頂いてます

*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)

